

株式会社サンエーセイミツ

業 種：金属製品製造業

業務内容：農業機械、建設機械、産業機械用の金属部品加工

従業員数：18名（令和5年7月現在）



テレワーク導入目的

テレワーク対象者が県外に移住することとなり、雇用継続の為にテレワーク対象者の作業場所となる自宅を拠点にし、近隣エリアへの営業活動を重点的に行えると考え、テレワーク導入に至った。

テレワーク形態



- <対象者> 1名
- <作業場所> 自宅（県外）
- <頻 度> 毎日（月に2回は会社へ入社）
- <形 態> 会社PCと携帯電話を貸与

テレワーク導入にあたっての課題や不安克服方法

課題や不安	克服方法
・セキュリティ	<ul style="list-style-type: none">・リモートワーク対応のセキュリティを導入し、ネットワークを強化した。・会社から貸与したPCや携帯を使用し、作成した成果物等データは、サーバで管理保管し、持ち出すことがないようにした。
・業務内容	<ul style="list-style-type: none">・業務内容は本社でしかできない仕事を引継ぐ一方、重要な管理部分においてはリモートワーク前と変わらず支障なく行えている。また新たに担っているシステム構築について集中して業務を進めることが出来ている。
・勤怠管理	<ul style="list-style-type: none">・毎日始業終業前に会社の労務管理者宛てにメールで報告。途中、私用や外出する際もメールで報告することで柔軟に対応できている。会社が休みの日や担当者不在時でもメール履歴で状況確認が可能。

実際にテレワークを実施してからの問題及び克服方法

課題や不安	克服方法
・コミュニケーション	・テレワーク対象者が管理者の立場であり、部下の業務状況を直接見ることができないことが不安であった。 各々が提出する報告書を工夫し、内容から実情を知ることができるようにしている。 ・主には携帯LINEのテレビ電話を使って、表情を見て声を聞きながらのやり取りを行っている。 また、月に2回会社へ出勤する機会に、直接会ってコミュニケーションをはかっている。
・光熱費用負担	・テレワーク対象者が負担しているが、昨今の値上もあり今後の対応を考えているところである。 現在は会社へ出勤した際の通勤費にプラスする形で補填している。

テレワーク実施後のメリット

- ・会社を熟知している人材を就業場所関係なく継続して雇用することができる。
- ・営業先までの移動距離が近くなったことにより負担が減り、その時間を有効に使えている。
- ・データをサーバで管理し、テレビ電話や報告書により状況を共有することができる
- ・緊急時の出勤困難時も業務を中断せずに行うことができる。